

愛星保育園では「保育の5本の柱」として、**5つの力（体力・音楽力・創造力・栽培力・食育）**を育てる保育を行っています。また、厚労省の『保育所保育指針』には「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」が示されています。

子ども達がより充実した楽しい日々を過ごせるよう、愛星の保育を“10の姿”に照らし合わせ、一人一人の力をさらに伸ばしていくために必要なサポートにも取り組んでいます。



★10の姿★

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

※子どもにはそれぞれの成長や発達の姿があり、一律の到達目標ではありません。

★体力の向上★

基礎体力の向上

新聞紙をお腹に被せて勢いよく走りま
す。風圧で新聞が体に密着するのを感じ
ながら、最後まで落とさないように走り
ぬけます。
単に速さを競うだけでなく、ひと工夫す
ることによって、風を感じたりバランス
感覚も鍛えられます。

風に向かって
よーいドン★



① ⑥ ⑦

看護師が各年齢に合わせ、体のしくみや自分の健康を守るために必要なことをわかりやすく伝え、実践できるようサポートします。

「やって」から「じぶんで」
に変わり、何でも自分でやろ
うとするけれど、うまくいか
ずにイヤイヤ、イライラ…
子どもにとっても大人にとっ
ても我慢と忍耐が必要です。
一つ一つの達成感が自信に繋
がる大切なプロセスを、保護
者と共に見守っていきます。



② ⑥



幼児組で大人気の恐竜。
ぬりえ⇒模写⇒図鑑調べ⇒製作物…と
遊びが、どんどん広がっていきます。
「この馬、寝てるけどいいの？」
「うん！だってコレはね、
肉食恐竜のエサなんだよ」
遊びを通して、興味・知識が高まっ
ていきます。

これは首長恐竜の
エサだよ！



② ③ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

★創作力の向上★

様々な素材に触れ
自由に作る



わたしは黄色～♪
ぼくはみどり色だよ☆



②
③
⑥
⑧
⑨
⑩

「一人で」「自分のもの」にこだわる時
期を経て、友達と一緒に何かを行う、
同じものを譲り合って使うなど、共同
作業を楽しむ心の育ちが見られるよ
うになります。
個人の表現を大切にしながら、みな
で創りあげる喜びも感じます。





★食育活動の推進★

いただくことに感謝する

給食は地産地消にも力を入れていきます。東京都の漁連を通じて仕入れた魚を使った“お魚教室”では、切り身ではなく海で泳いでいるままでの姿を知ることができます。色や形、匂いを直接感じながら、給食職員が目の前でさばいた新鮮な魚を美味しく頂きます。『他の生き物の命を頂いて、私達は生きている』ことを伝える大事な時間です。



1
5
6
7

「わあ、うろこが光ってる☆」
楽しい発見がいっぱい！



3
6
7

おっきなキュウリが
とれたよお♪

花壇やプランターをミニ菜園にして花や野菜を育てています。

乳児組・幼児組、それぞれ自分達でできるお世話（土づくり、肥料づくり、水やり、雑草抜きなど）をすることで慈しみの心が育ちます。小さな種や苗が少しずつ大きくなっていく姿を間近で見ながら、自然の恵みや生命の不思議を感じます。

★栽培力の向上★

生長・収穫を喜び

自然の恵みに感謝する



1
2
7
9
10

高輪という場所に立地する愛星保育園ですが、意外にも周囲には豊かな自然環境があります。高松中学の敷地や近隣のお寺の境内をはじめ、東海大学の亀・・・など季節の花々や木の実、虫、生き物といった五感をくすぐる恵まれた環境を活かし、生命の彩りにあふれた保育に取り組んでいます。



★音楽力の向上★

リズム・メロディを
感じ表現する

ピアノとヴァイオリンのアンサンブルで、演奏会を行いました。いつもと違った雰囲気、生で聴くヴァイオリンの音色に子ども達は目も耳もクギ付けです。本物の音や音楽に触れ、音楽の楽しさや面白さを肌で感じることで「やってみたい」という意欲や好奇心の芽を育てていきます。



5
10



ヴァイオリンもドレスも素敵～♪



3
8
10

タンバリンで
タン タン タン♪

周囲の様々な人との触れ合いの中で“友だちの大切さ”
“自分自身の大切さ”“信じることの大切さ”を知り
卒園までの間に「自分は一人ぼっちではない」という
ことに気づき、生きる力を身につけることができるよう
関わっていきます。

